

# 地域枠医師の配置に関するアンケート調査

## 1 趣 旨

岡山大学と広島大学で養成している地域枠医師について、優先的に配置すべき地域や病院を判断する際の参考とするため、県内に所在する全病院（171箇所）を対象に、医療機関ごとの医師数や教育指導体制、勤務環境の改善策や地域枠医師の配置希望などについて、現状把握を行うものである。

## 2 調査内容

### (1) 医師数の現況等について

①現員医師数と求人医師数

### (2) 教育指導体制について

②指導医・専門医数 ③専門医教育病院等の指定状況

④常勤医師の指導医・専門医資格 ⑤非常勤医師の指導医・専門医資格

⑥最新の医療に触れられる機会の提供 ⑦地域医療に対する支援の状況

### (3) 勤務環境の改善について

⑧医師の事務負担軽減に向けた取組 ⑨医師の秘書的業務の取扱い

⑩患者とのトラブルから医師を守る体制づくり

⑪医師の当直時の負担軽減に向けた取組

⑫医師の勤務実態を把握するための取組

⑬医師の居住環境に係る支援 ⑭育児休業に係る支援

⑮勤務時間に係る支援 ⑯保育に係る支援

⑰病院周辺の保育所・病児保育・小児科の情勢、自治体の保育支援体制

⑱医師の家族に要介護者が生じた場合の支援

### (4) 地域枠医師の配置について

⑲地域枠医師の配置を希望する診療科（分野）と人数

⑳地域枠医師の受入に向けた教育指導体制の充実策

㉑地域枠医師の受入に向けた勤務環境の改善策

㉒地域枠医師の受入に伴う医業損益の見通し

㉓直近決算期における医業損益等

3 調査方法 地域医療支援センターのホームページから様式をダウンロードし、電子メールにより回答

4 回答期限 平成24年9月28日（※10月31日まで延長）

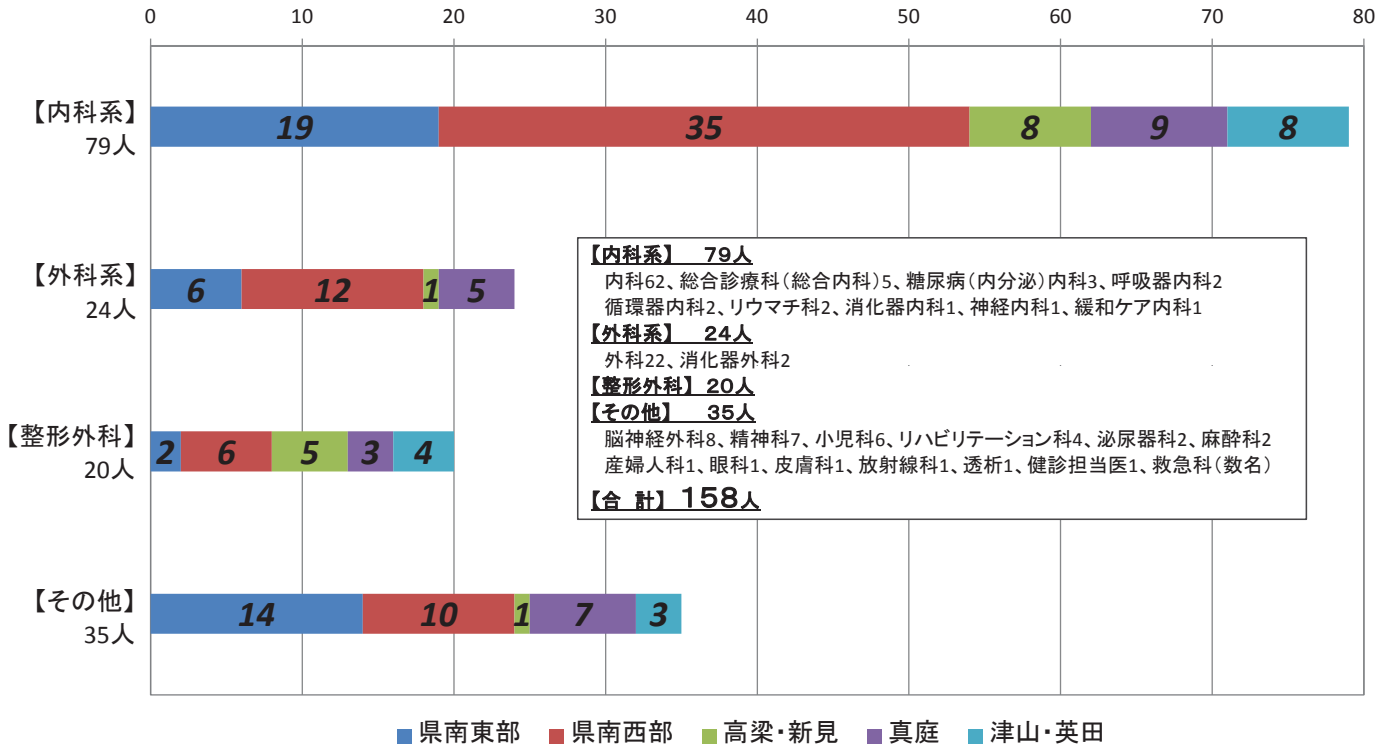
5 回答状況（平成24年10月末現在）

	県 計	県南東部	県南西部	高梁・新見	真 庭	津山・英田
病院数	171	80	56	9	8	18
回答数 (率)	103 (60.2%)	47 (58.8%)	33 (58.9%)	6 (66.7%)	5 (62.5%)	12 (66.7%)

## 地域枠医師の配置に関するアンケート調査【主なコメント】

<b>◆地域枠医師の配置を必要とする理由</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・常勤医の不足により<b>地域の医療ニーズ</b>に十分応えられていない。</li><li>・常勤医の<b>高齢化</b>に伴う後継医師の確保</li><li>・常勤医の<b>負担軽減</b></li><li>・高齢化の進行に伴い<b>内科や整形外科の医療ニーズ</b>が増加</li><li>・在宅医療の<b>必要性</b>が高まり内科医の需要が増加</li><li>・総合的に診療できる医師が望まれる。</li></ul>
<b>◆地域枠医師の受入に向けた対応</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・専門医研修施設の認定取得（内科、外科、整形外科など）</li><li>・専門医研修施設の認定に向け努力しているが、<b>指導医の確保が困難</b></li><li>・専門医志向が強い<b>最近の傾向</b>から、専門研修の機会を用意しないと配置先病院での仕事に熱が入らないことが予測される。</li><li>・総合的な診療ができる医師を養成する院内カリキュラムの構築や院外研修の充実</li><li>・家庭医養成施設との連携による技術習得やへき地医療への積極参加</li><li>・地域枠医師の受入れにより、<b>診療内容の充実や患者数の確保</b>に繋がり、人件費増を上回る医療収益の増加が見込まれる。</li></ul>
<b>◆その他の意見</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域枠医師の配置に際しては、配置先病院だけではなく、地域医師会とも話し合っ て決めていただきたい。派遣される医師とのマッチングもあるが、<b>なぜその医師が その病院へ派遣されるのか</b>ということの<b>地域に対する透明性</b>が大切だと思う。</li><li>・地域枠医師が専門性を追求する場合、それに応える指導医と患者数を持つ医師不足 地域の病院は少ない。自治医師と同様、後期研修の時期から専門性志向に対応すれ ばよいと思う。「総合診療医」という専門性を志向する医師が多数出ることを願う。</li><li>・医師不足に泣いている病院は、<b>ある程度のレベル以上の医師なら何人でも欲しいの が真情</b>だと思う。「教育指導体制の充実策」や「勤務環境の改善策」、「決算状況」 などが、優先的に支援すべき地域や診療科を判断する重要な要因になるのは、<b>医師 不足で心底困っている病院には少なからずストレス</b>になる。</li><li>・まずは自治体病院への派遣から始めることを望む。医師不足は、へき地医療拠点病 院が管理しているへき地診療所への定期的な派遣継続とその充実が解決のカギだと思 う。</li><li>・地域枠医師の専門性獲得のため、<b>後期研修は2年間保障</b>する。これは地域枠医師の モチベーション維持につながる事が最大の理由だが、研修受入病院も医師不足で あり、その補充にもなるという理由である。救急診療での疲弊が専門医を苦しめて おり、救急医療機関としても<b>総合診療医は喉から手が出るほど欲しい</b>人材である。</li><li>・救急対応の総合病院は、ご苦労もあるが、若手の医師が集まり制度的にも優遇され 羨ましく思う。人的配置が難しい中小病院にも少しは手を差し伸べて欲しい。</li></ul>

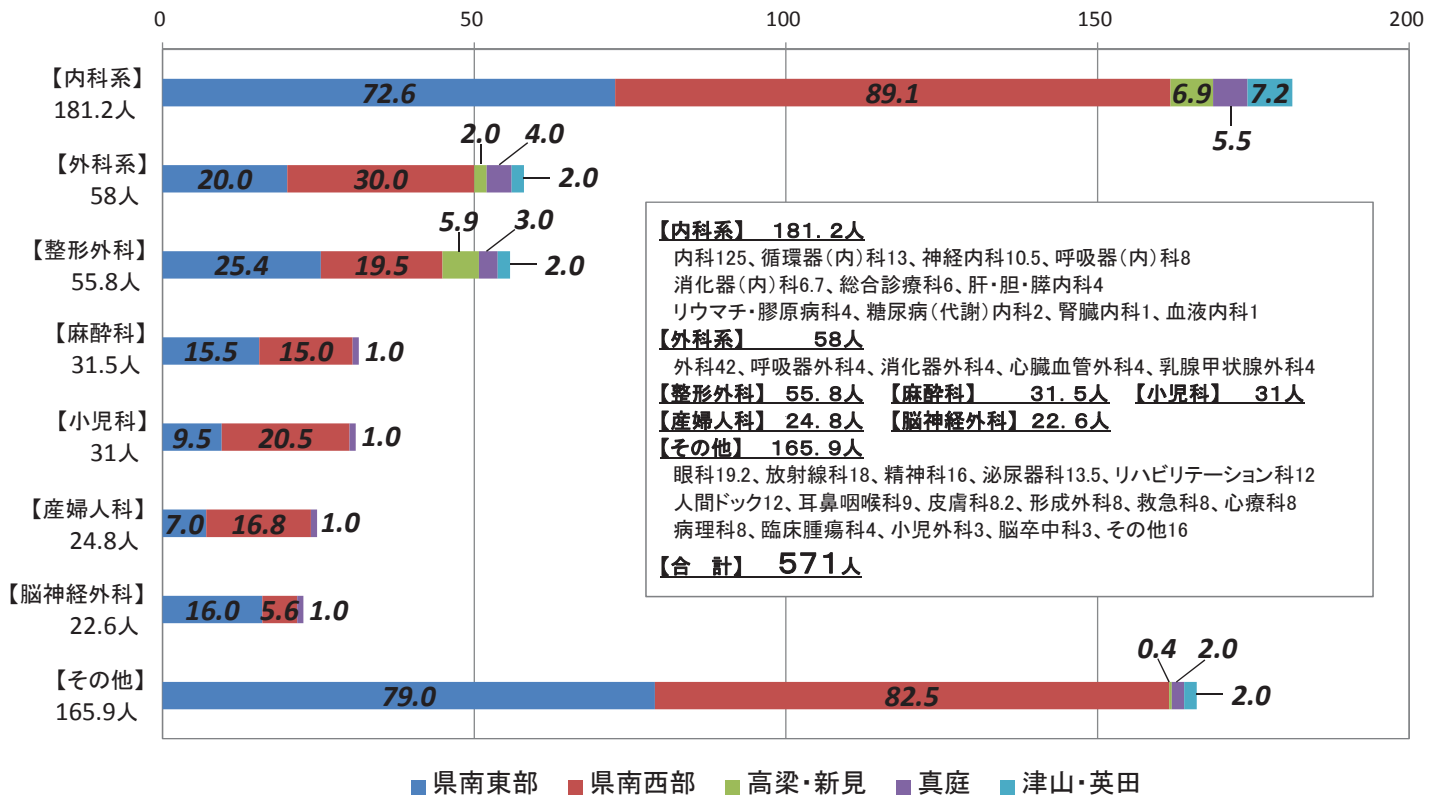
地域枠医師の配置に関するアンケート調査【地域枠医師の配置希望人数】



地域枠医師の配置に関するアンケート調査【地域枠医師の配置希望人数】

医療圏	地域枠医師の配置希望		医療圏	地域枠医師の配置希望		医療圏	地域枠医師の配置希望		医療圏	地域枠医師の配置希望	
	診療科(分野)	希望人数(上限)		診療科(分野)	希望人数(上限)		診療科(分野)	希望人数(上限)		診療科(分野)	希望人数(上限)
県南東部	内科	17	県南西部	内科	22	高梁・新見	内科	7	真庭	内科	62
	糖尿病(内分泌)内科	2		外科	12		整形外科	5		外科	22
	外科	4		整形外科	6		総合診療科	1		整形外科	20
	消化器外科	2		総合診療科	3		外科	1		脳神経外科	8
	整形外科	2		循環器内科	2		透析	1		精神科	7
	脳神経外科	4		呼吸器内科	2		内科	8		小児科	6
	産婦人科	数名		リウマチ科	2		外科	5		総合診療科(総合内科)	5
	小児科	3		脳神経外科	2		整形外科	3		リハビリテーション科	4
	精神科	5		小児科	2		脳神経外科	2		糖尿病(内分泌)内科	3
	リハビリテーション科	2		泌尿器科	2		麻酔科	2		呼吸器内科	2
		リハビリテーション科	2	総合診療科	1	循環器内科	2				
		神経内科	1	産婦人科	1	リウマチ科	2				
		消化器内科	1	小児科	1	消化器外科	2				
		糖尿病(内分泌)内科	1	皮膚科	1	泌尿器科	2				
		緩和ケア内科	1	津山・英田	内科	8	麻酔科	2			
		放射線科	1		外科	4	消化器内科	1			
		健診担当医	1		整形外科	4	神経内科	1			
		産婦人科	数名		精神科	2	緩和ケア内科	1			
		救急科	数名		眼科	1	産婦人科	1			
<b>&lt;凡例&gt;</b>						県計	眼科	1			
	内科系						皮膚科	1			
	外科系						放射線科	1			
	整形外科						透析	1			
							健診担当医	1			
							救急科	数名			
							計	158			

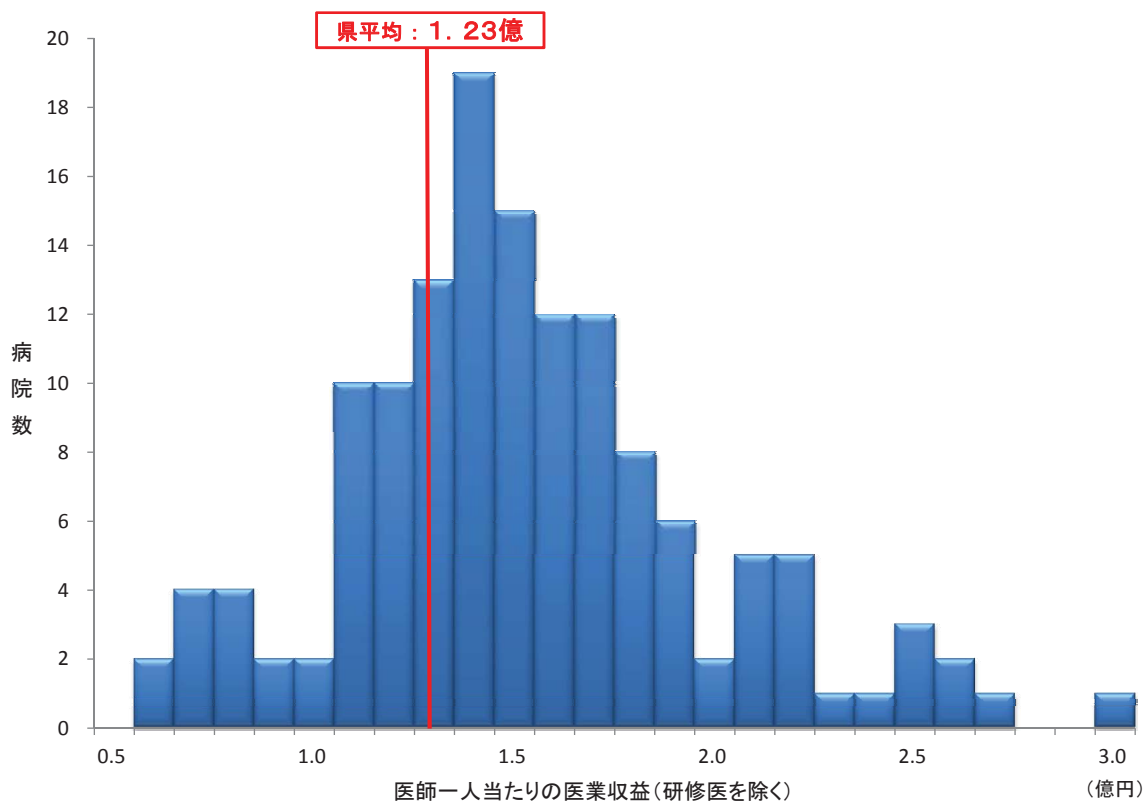
地域枠医師の配置に関するアンケート調査【病院の求人医師数(常勤換算)】



地域枠医師の配置に関するアンケート調査【病院の求人医師数(常勤換算)】

医療圏	診療科	求人医師数(常勤換算)	医療圏	診療科	求人医師数(常勤換算)	医療圏	診療科	求人医師数(常勤換算)	医療圏	診療科	求人医師数(常勤換算)
県南東部	内科	62.6	県南西部①	内科	45.39	県南西部②	臨床腫瘍科	4	高梁・新見	内科	5.864
	整形外科	25.4		小児科	20.5		複数科自由設計	4		整形外科	5.864
	外科	19		整形外科	19.5		心臓血管外科	3		外科	2
	脳神経外科	16		産婦人科	16.8		小児外科	3		総合診療科	1
	麻酔科	15.5		外科	15		形成外科	3		眼科	0.2
	精神科	14		麻酔科	15		心療科	3		皮膚科	0.2
	眼科	11		放射線科	10		皮膚科	3		内科	5.5
	小児科	9.5		循環器(内)科	9		脳卒中科	3		外科	4
	リハビリテーション科	8		人間ドック	9		リハビリテーション科	3		整形外科	3
	産婦人科	7		呼吸器(内)科	8		医療資料部	3		脳神経外科	1
	泌尿器科	7		眼科	8		糖尿病(代謝)内科	2	産婦人科	1	
	放射線科	7		救急科	7		中央検査部	2	小児科	1	
	臨床研修センター	7		消化器(内)科	6.7		血液内科	1	皮膚科	1	
	神経内科	6		泌尿器科	6.5		精神科	1	放射線科	1	
	形成外科	5		病理科	6				麻酔科	1	
	心療科	5		脳神経外科	5.6		<凡例>		内科	5.7	
	耳鼻咽喉科	5		総合診療科	5		内科系		外科	2	
	皮膚科	4		神経内科	4		外科系		整形外科	2	
	循環器(内)科	3		肝・胆・膵内科	4		整形外科		循環器(内)科	1	
	人間ドック	3		リウマチ・膠原病科	4				精神科	1	
病理科	2	呼吸器外科	4			リハビリテーション科	1				
腎臓内科	1	消化器外科	4			神経内科	0.5				
心臓血管外科	1	乳腺甲状腺外科	4								
救急科	1	耳鼻咽喉科	4								

地域枠医師の配置に関するアンケート調査 【病院の医業収益分布】



地域枠医師の配置に関するアンケート調査 【直近決算期における医業損益等】

医療圏	病院数	集計対象	医業損益(億円)				集計対象の 常勤換算医師数 (研修医を除く) (人):C	医師一人当たり の医業収益 (研修医を除く) (億円):A/C
			医業収益		医業費用:B	収支:A-B		
			金額:A	構成比(%)				
県南東部	80	61	1,694	44	1,631	63	1,491	1.14
県南西部	56	49	1,643	43	1,578	65	1,293	1.27
高梁・新見	9	8	94	3	97	▲ 3	71	1.33
真庭	8	6	89	2	89	0.5	60	1.49
津山・英田	18	16	303	8	291	12	195	1.56
県計	171	140	3,823	100	3,686	137	3,110	1.23

注1: アンケート未回答・未記載分は、県の補足調査により、可能な範囲で医業損益を集計している。

2: 常勤換算医師数(C)(D)は、医療機能情報報告(岡山県:H23.10.1現在)の数値を使用している。